

# ひょうごの鉄生産と流通

～弥生時代から近代まで～

▶高見國一 鍛冶場提供(宮田昌彦氏撮影)



設立4年目を迎えたひょうご歴史研究室の今年度の成果発表会は、兵庫県内の鉄の生産と流通を、日本列島上の問題として、古代から近代の歴史のなかで考えます。大きな話題を呼んだ古代淡路の鍛冶工房跡、刀剣用の素材として知られた千草鉄、そして姫路の新日鉄広畑工場に象徴される近代製鉄業への展開など、「ひょうごの鉄生産と流通」の実態解明に迫ります。

平成31年(2019) **3月3日**(日)

午後1時～午後4時30分 開場：正午 **先着順・250名**

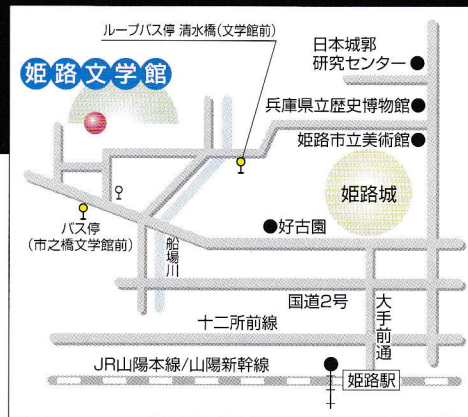
会場：姫路文学館講堂（北館3階）  
(姫路市山野井町84番地 TEL.079-293-8228)

**入場無料**



▲五斗長垣内遺跡の復元建物(淡路市)

主催：兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室  
共催：姫路市教育委員会



**アクセス**

- バス**
- JR姫路駅前北側のバスターミナル9・10・17・18番乗り場から、神姫バスに乗り「市之橋文学館前」で下車(約6分。北に向かい会場まで徒歩4分)
  - バスターミナル6番乗り場から、城周辺観光ループバスに乗り「清水橋(文学館前)」で下車(約10分。西に向かい徒歩3分)
- 車**
- 姫路バイパス・中地ランプで降り、北東へ約15分
  - 山陽自動車道・姫路西ICで降り、南東へ約25分
  - 〃・姫路東ICで降り、南西へ約25分
  - 約50台駐車可(なるべく公共交通機関でお越しください)

**プログラム**

- **講演①** 伊藤 宏幸 (淡路市教育委員会)  
「製鉄前夜の鉄器生産  
～兵庫県下の鍛冶遺構を中心に～」
- **講演②** 大村 拓生 (ひょうご歴史研究室歴史研究推進員)  
「千草鉄の流通と刀剣」
- **講演③** 土佐 雅彦 (共同研究員/県立篠山東雲高等学校)  
「たたら製鉄から近代製鉄へ」
- **パネルディスカッション**  
パネリスト：伊藤 宏幸・大村 拓生・土佐 雅彦  
司会：岩城 卓二 (客員研究員/京都大学人文科学研究所)  
村上 泰樹 (共同研究員/兵庫県まちづくり技術センター)